

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成28年12月1日(2016.12.1)

【公開番号】特開2015-106793(P2015-106793A)  
 【公開日】平成27年6月8日(2015.6.8)  
 【年通号数】公開・登録公報2015-037  
 【出願番号】特願2013-247610(P2013-247610)  
 【国際特許分類】

H 0 4 N 21/426 (2011.01)

H 0 4 H 20/22 (2008.01)

H 0 4 H 40/18 (2008.01)

H 0 4 B 1/16 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 21/426

H 0 4 H 20/22

H 0 4 H 40/18

H 0 4 B 1/16 G

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月6日(2016.10.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

データ放送を含む第 1 デジタル放送、及び、前記第 1 デジタル放送とノイズ耐性が異なる第 2 デジタル放送の一方の映像を選択して表示する放送受信装置において、

前記データ放送の内容を表示させるデータ放送関連指定がなされている場合、前記データ放送関連指定がなされていない場合に前記第 2 デジタル放送への選択の変更を行わせる受信品質状態となったという主条件を満たしても、付加条件を満たすまで前記第 1 デジタル放送の選択を続行させる制御部を備える、放送受信装置。

【請求項 2】

利用者による前記データ放送関連指定を含む指定を取得し、該指定を示す情報を前記制御部へ送る取得部を更に備える、ことを特徴とする請求項 1 に記載の放送受信装置。

【請求項 3】

前記付加条件には、前記選択の変更を行わせる受信品質状態の継続中に、利用者により前記取得部を介して前記データ放送関連指定が解除されることが含まれる、ことを特徴とする請求項 2 に記載の放送受信装置。

【請求項 4】

前記付加条件には、前記選択の変更を行わせる受信品質状態の継続が所定時間に達したことが含まれる、ことを特徴とする請求項 2 又は 3 に記載の放送受信装置。

【請求項 5】

前記制御部は、前記選択の変更を行わせる受信品質状態となってから、前記付加条件を満たすまでの期間には、前記選択の変更を保留している旨を示す情報を表示部に表示させる、ことを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の放送受信装置。

【請求項 6】

前記データ放送関連指定には、利用者による前記データ放送の内容の表示指定が含まれ

る、ことを特徴とする請求項 1～5 のいずれか一項に記載の放送受信装置。

【請求項 7】

前記データ放送関連指定には、利用者による前記データ放送の内容の表示指定以外の指定に対応して表示された前記データ放送の内容に関連して利用者により行われた、前記データ放送の内容の表示の解除指定以外の指定が更に含まれる、ことを特徴とする請求項 6 に記載の放送受信装置。

【請求項 8】

前記第 1 デジタル放送と前記第 2 デジタル放送とは、同時に同番組を放送するサイマル放送となっている、ことを特徴とする請求項 1～7 のいずれか一項に記載の放送受信装置。

【請求項 9】

データ放送を含む第 1 デジタル放送、及び、前記第 1 デジタル放送とノイズ耐性が異なる第 2 デジタル放送との放送波を受信し、前記第 1 デジタル放送及び前記第 2 デジタル放送のいずれかに基づく映像信号を表示部へ出力する受信処理部と；

前記放送波の受信品質に基づいて、前記受信処理部により出力される映像信号の選択の制御を行う制御部と；

利用者による指定を取得し、前記取得された指定を示す情報を前記制御部へ送る取得部と；を備え、

前記受信処理部により前記第 1 デジタル放送に基づく映像信号が選択されている状態において、

前記制御部は、前記第 1 デジタル放送に基づく映像信号から前記第 2 デジタル放送に基づく映像信号へ前記選択を変更する場合に、前記データ放送の内容が利用者により前記取得部を介してなされているデータ放送関連指定によって表示されているときに、前記第 2 デジタル放送に基づく映像信号を選択させるタイミングと、前記データ放送の内容が、前記取得部を介してなされているデータ放送関連指定以外の指定によって表示されているときに、前記第 2 デジタル放送に基づく映像信号を選択させるタイミングと、を異ならせる制御を行う、放送受信装置。

【請求項 10】

データ放送を含む第 1 デジタル放送、及び、前記第 1 デジタル放送とノイズ耐性が異なる第 2 デジタル放送の一方の映像を選択して表示する放送受信装置において使用される放送受信方法であって、

前記第 1 及び第 2 放送の受信品質を検出する検出工程と；

前記検出工程において検出された受信品質に基づいて、表示する映像の選択を制御する制御工程と；を備え、

前記制御工程では、前記データ放送の内容を表示させるデータ放送関連指定がなされている場合、前記データ放送関連指定がなされていない場合に前記第 2 デジタル放送への選択の変更を行わせる受信品質状態となったという主条件を満たしても、付加条件を満たすまで前記第 1 デジタル放送の選択を続行させる、

放送受信方法。

【請求項 11】

放送受信装置が有するコンピュータに、請求項 10 に記載の放送受信方法に実行させる、ことを特徴とする放送受信プログラム。

【請求項 12】

放送受信装置が有するコンピュータにより読み取り可能に、請求項 11 に記載の放送受信プログラムが記録されている、ことを特徴とする記録媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0010】

かかる事態を防止するため、データ放送画像を表示している場合に、放送の選択の変更を行わないようにすることが考えられる。この場合には、利用者が意図的にデータ放送の内容を表示していない場合であっても、放送の選択の変更が行なわれないことになる。この結果、利用者がデータ放送画像を参照して操作をすることがない場合において、放送階層の選択の変更を行えば、放送されている映像及び音声の視聴の継続ができるときであっても、当該映像及び音声の視聴をすることができなくなってしまう事態が発生し得る。また、放送階層の選択の変更を行えば、高品質の映像及び音声の視聴の継続ができるときであっても、低品質の映像及び音声の視聴を継続することになる事態も発生し得る。

## 【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0012】

請求項1に記載の発明は、データ放送を含む第1デジタル放送、及び、前記第1デジタル放送とノイズ耐性が異なる第2デジタル放送の一方の映像を選択して表示する放送受信装置において、前記データ放送の内容を表示させるデータ放送関連指定がなされている場合、前記データ放送関連指定がなされていない場合に前記第2デジタル放送への選択の変更を行わせる受信品質状態となったという主条件を満たしても、付加条件を満たすまで前記第1デジタル放送の選択を続行させる制御部を備える、放送受信装置である。

## 【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0013】

請求項9に記載の発明は、データ放送を含む第1デジタル放送、及び、前記第1デジタル放送とノイズ耐性が異なる第2デジタル放送との放送波を受信し、前記第1デジタル放送及び前記第2デジタル放送のいずれかに基づく映像信号を表示部へ出力する受信処理部と；前記放送波の受信品質に基づいて、前記受信処理部により出力される映像信号の選択の制御を行う制御部と；利用者による指定を取得し、前記取得された指定を示す情報を前記制御部へ送る取得部と；を備え、前記受信処理部により前記第1デジタル放送に基づく映像信号が選択されている状態において、前記制御部は、前記第1デジタル放送に基づく映像信号から前記第2デジタル放送に基づく映像信号へ前記選択を変更する場合に、前記データ放送の内容が利用者により前記取得部を介してなされているデータ放送関連指定によって表示されているときに、前記第2デジタル放送に基づく映像信号を選択させるタイミングと、前記データ放送の内容が、前記取得部を介してなされているデータ放送関連指定以外の指定によって表示されているときに、前記第2デジタル放送に基づく映像信号を選択させるタイミングと、を異ならせる制御を行う、放送受信装置である。

## 【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0014】

請求項10に記載の発明は、データ放送を含む第1デジタル放送、及び、前記第1デジタル放送とノイズ耐性が異なる第2デジタル放送の一方の映像を選択して表示する放送受信装置において使用される放送受信方法であって、前記第1及び第2放送の受信品質を検出する検出工程と；前記検出工程において検出された受信品質に基づいて、表示する映像

の選択を制御する制御工程と；を備え、前記制御工程では、前記データ放送の内容を表示させるデータ放送関連指定がなされている場合、前記データ放送関連指定がなされていない場合に前記第２デジタル放送への選択の変更を行わせる受信品質状態となったという主条件を満たしても、付加条件を満たすまで前記第１デジタル放送の選択を続行させる、放送受信方法である。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１５】

請求項１１に記載の発明は、放送受信装置が有するコンピュータに、請求項１０に記載の放送受信方法に実行させる、ことを特徴とする放送受信プログラムである。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１６】

請求項１２に記載の発明は、放送受信装置が有するコンピュータにより読み取り可能に、請求項１１に記載の放送受信プログラムが記録されている、ことを特徴とする記録媒体である。